

アンリツ株式会社 会社説明会

2012年 3月5日

コーポレートコミュニケーション部長

中村 昭一郎



TSE code : 6754
<http://www.anritsu.com>



注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

1. 会社概要
2. 事業概要
3. 成長ドライバー: モバイル計測事業
4. 業績の推移
5. 株主・投資家のみなさまへ

1. 会社概要

2. 事業概要

3. 成長ドライバー: モバイル計測事業

4. 業績の推移

5. 株主・投資家のみなさまへ

Anritsu

昔から通信の
“ハイテク・カンパニー”

1-1. 会社概要



社名	アンリツ株式会社
本社所在地	神奈川県厚木市恩名5-1-1
創業	1895年(明治28年)
資本金	140億51百万円 (平成23年3月31日現在)
売上高	連結 778億53百万円 (平成23年3月期) 単独 391億08百万円 (平成23年3月期)
従業員数	連結 3,614名、単独 825名 (平成23年3月31日現在)
グループ企業	国内:11社、海外:25社
TSE code	6754

計測事業

携帯電話・スマートフォンの開発・製造
通信ネットワークの開発、建設・保守

- ▶ モバイル市場
- ▶ ネットワーク・インフラ市場
- ▶ エレクトロニクス市場



産業機械事業

食の安全・安心

- ▶ X線異物検出機、重量選別機



情報通信事業

高信頼性ネットワーク、防災・減災

- ▶ IPネットワークシステム



1-2. 経営理念・経営ビジョン



代表取締役社長
橋本 裕一

経営理念

誠と和と意欲をもって、
“オリジナル&ハイレベル”な商品とサービスを提供し、
安全・安心で豊かなグローバル社会の発展に貢献する

経営ビジョン

衆知を集めたイノベーションで
“利益ある持続的成長”を実現する

マーケット・ドリブンとカスタマー・フォーカスによる
イノベーション活動で、グローバルなマーケットリーダー
になる

1-3. 沿革

情報通信の黎明期から
技術の進歩・発展に貢献

1895年 石杉社(せきさんしゃ、その後共立電機)創業

1900年 安中電機製作所設立

1905年 日本海海戦の緒戦で哨艦信濃丸が、
安中電機製の36式無線電信機で“敵艦見ゆ”の信号を発信

1912年 安中電機、逓信省電気試験所のTYK式無線電話機を完成
1916年に、世界初の無線電話の実用化として脚光をあびる



無線電話機

1931年 **安**中電機(無線通信機器)と共**立**電機(有線通信機器)を
合併して「**安立**電気株式会社」を創立

1939年 国産初の自動式公衆電話機1号機を完成



交流バイアス式
磁気録音機

テープレコーダーの母体となった交流バイアス式磁気録音機を開発

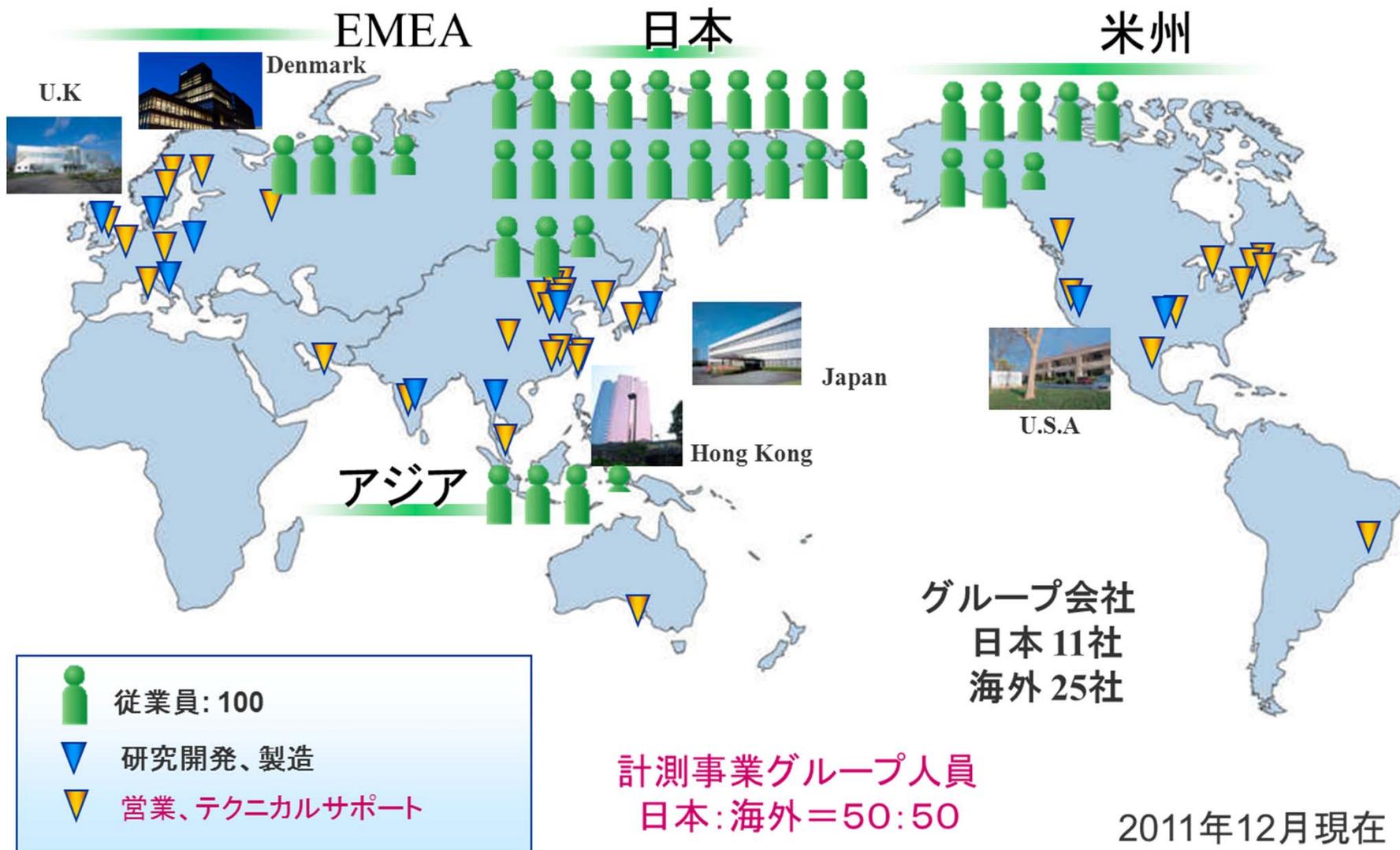
1985年 社名を「**アンリツ**株式会社」に変更

1990年 米国の計測器メーカー Wiltron社を買収(現Anritsu Company)



2005年 デンマークの計測器メーカー NetTest社を買収(現Anritsu A/S)

1-4. アンリツのグローバル体制



-
1. 会社概要
 - 2. 事業概要**
 3. 成長ドライバー: モバイル計測事業
 4. 業績の推移
 5. 株主・投資家のみなさまへ

Anritsu

計測事業が中心

2-1. 事業概要

2012年3月期売上高見通し(連結) : 915 億円

(2011年3月期: 779億円)

計測事業

開発・製造・建設・保守用

- ▶ モバイル市場
- ▶ ネットワーク・インフラ市場
- ▶ エレクトロニクス市場



産業機械事業

- ▶ 食の安全・安心
- ▶ X線異物検出機



情報通信事業

- ▶ IPネットワークシステム



計測 77% ←(69%)			産業機械	情報	その他
モバイル 45% ←(35%)	ネットワーク・インフラ 30% ←(35%)	エレクトロニクス 25% ←(30%)	15% (16%)	2% (5%)	6% (10%)

(計測事業 地域別売上比率)

日本 30% ←(30%)	米州 25% ←(30%)	EMEA 15% ←(20%)	アジア他 30% ←(20%)
------------------	------------------	--------------------	--------------------

売上比率は2011年度4月～12月累計、()内は2011年3月期

※EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域

2-2-1. 計測事業

計測器とは？

通信ネットワーク(無線、有線)や電子機器、電子部品の品質を確保するために、研究開発、製造(検査)、建設・保守で使われる「電子的な物差し」

お客様は？

日本および海外の、
電子機器メーカー、通信機器メーカー、電子部品メーカー、
通信事業者、通信工事業者、研究機関、
政府・自治体、など

2-2-2. アンリツの計測器

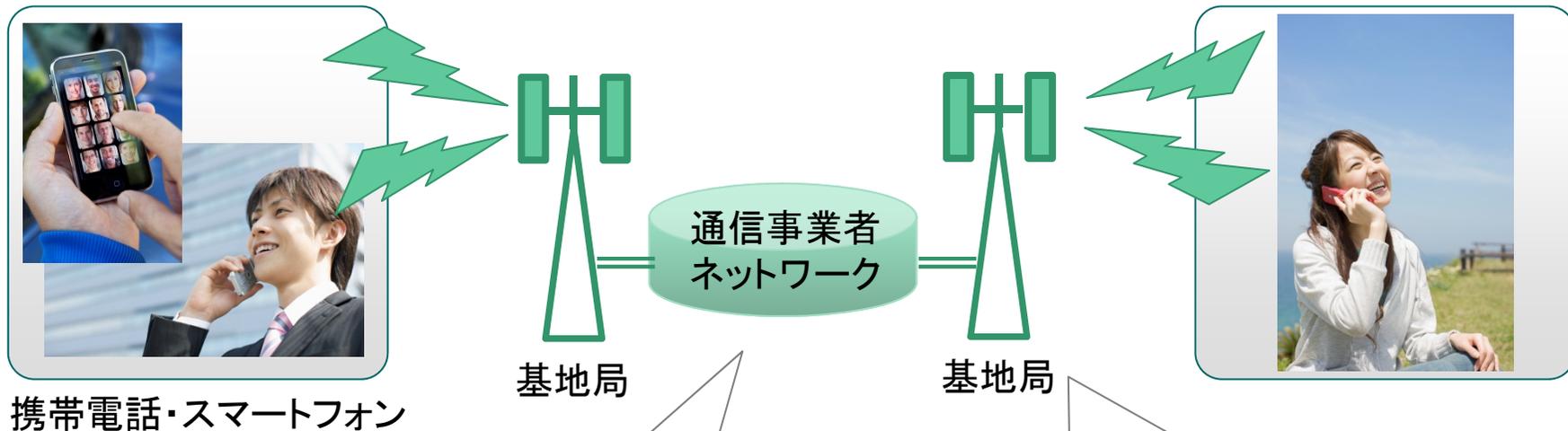
携帯電話/スマートフォン製造用計測器



2-2-3. 快適な通信サービスを支える計測器

携帯電話・スマートフォンが「つながる」
インターネットが「つながる」

— アンリツの計測器が品質を保証し、快適なサービスを支えています。



携帯電話・スマートフォン



端末の開発、
基地局との接続試験



端末生産ラインでの
品質検査

超高速ネットワークの
開発
光ファイバー網の
建設・保守



基地局の開発、製造
建設・保守時の動作検証

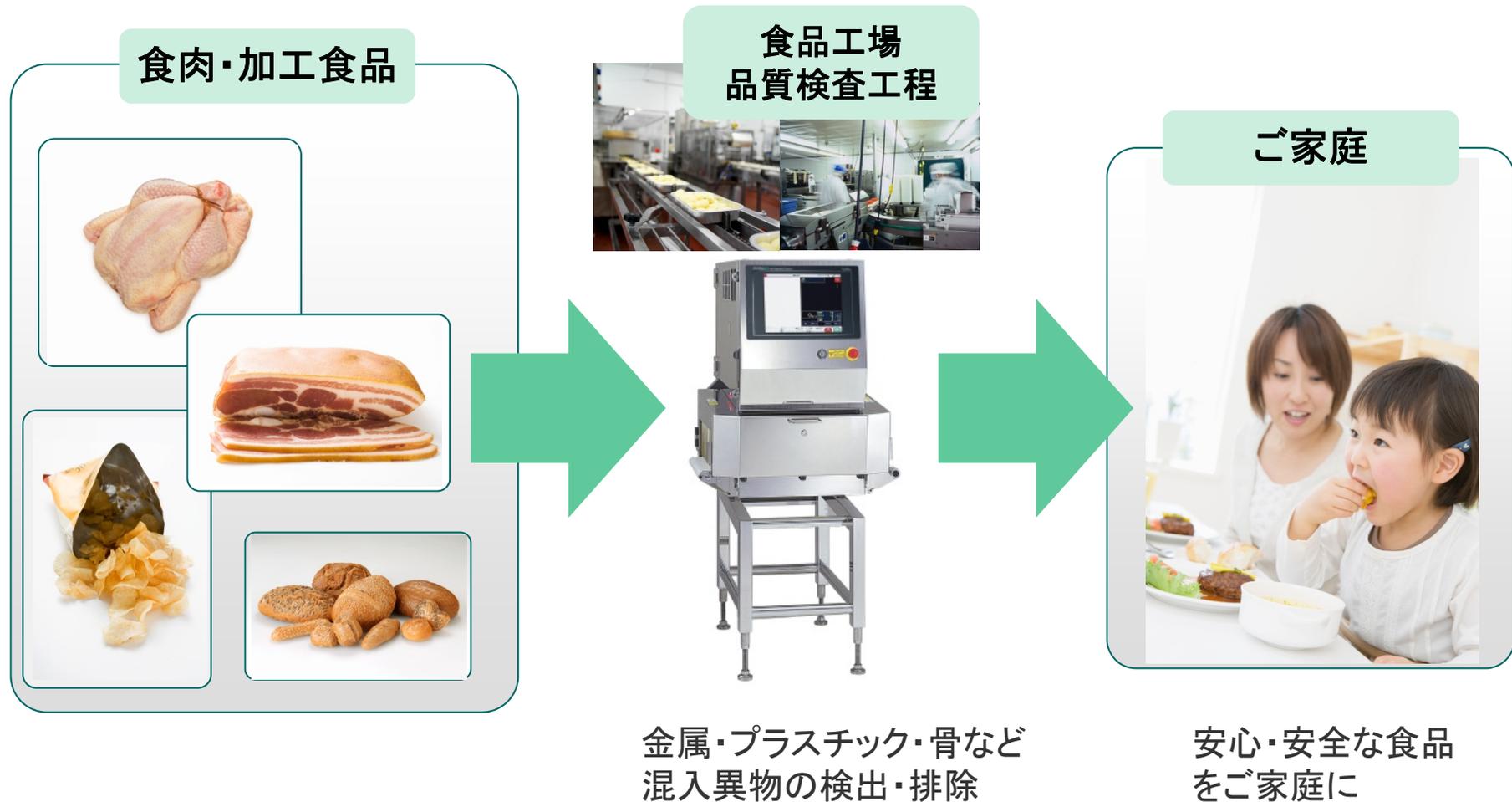


2-2-4. 計測事業の主要3分野

分野	対象領域
モバイル	携帯電話・スマートフォン関連の 開発・製造・保守 
ネットワーク・インフラ	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造 有線・無線ネットワークの建設・保守 ネットワークの品質モニタリング 
エレクトロニクス	汎用計測 (無線設備、電子部品等の開発・製造用など) 

2-3-1. 産業機械事業

アンリツの検査装置が食品の安心・安全を支えています。



2-3-2. 産業機械事業が提供するソリューション

食品・薬品・化粧品の安心・安全と、
エレクトロニクス機器の小型化・高密度化を支えています。

食品・薬品などの生産ライン

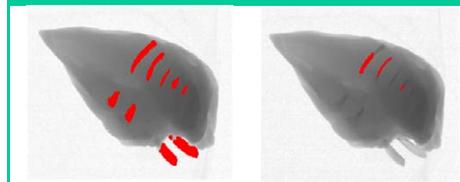
電子部品などの実装ライン



■ 新製品 デュアルエネルギーセンサー搭載 X線異物検出機

新製品

従来機



新型高感度センサを搭載し、
検出精度を飛躍的に向上。
検出が困難な鶏肉の骨などを
高精度に検出。

2-4. 情報通信事業

官公庁・自治体や、金融機関・通信事業者などの民間企業向けに、遠隔監視や防災・減災ソリューション、高信頼通信システムを提供しています。



2-5. 毎日の生活につながるアンリツグループ

アンリツは、皆さまの安全・安心で快適な日常生活を支えています。

地上デジタル放送
電波状況の測定、放送エリアの確認

携帯電話・スマートフォン
端末の開発・生産時の動作検証、品質検査
携帯電話ネットワークの建設・保守

カーエレクトロニクス
通信対応カーナビ、ETCなどの動作検証

光通信ネットワーク
光ファイバの断線や破損箇所の検出

金融
取引情報など重要通信の信頼性向上

交通・河川
道路や河川の状況をリアルタイムで監視

食品・医薬品
加工食品などの製造現場で、異物を検出
薬品の形状や質量の検査

-
1. 会社概要
 2. 事業概要
 - 3. 成長ドライバー: モバイル計測事業**
 4. 業績の推移
 5. 株主・投資家のみなさまへ

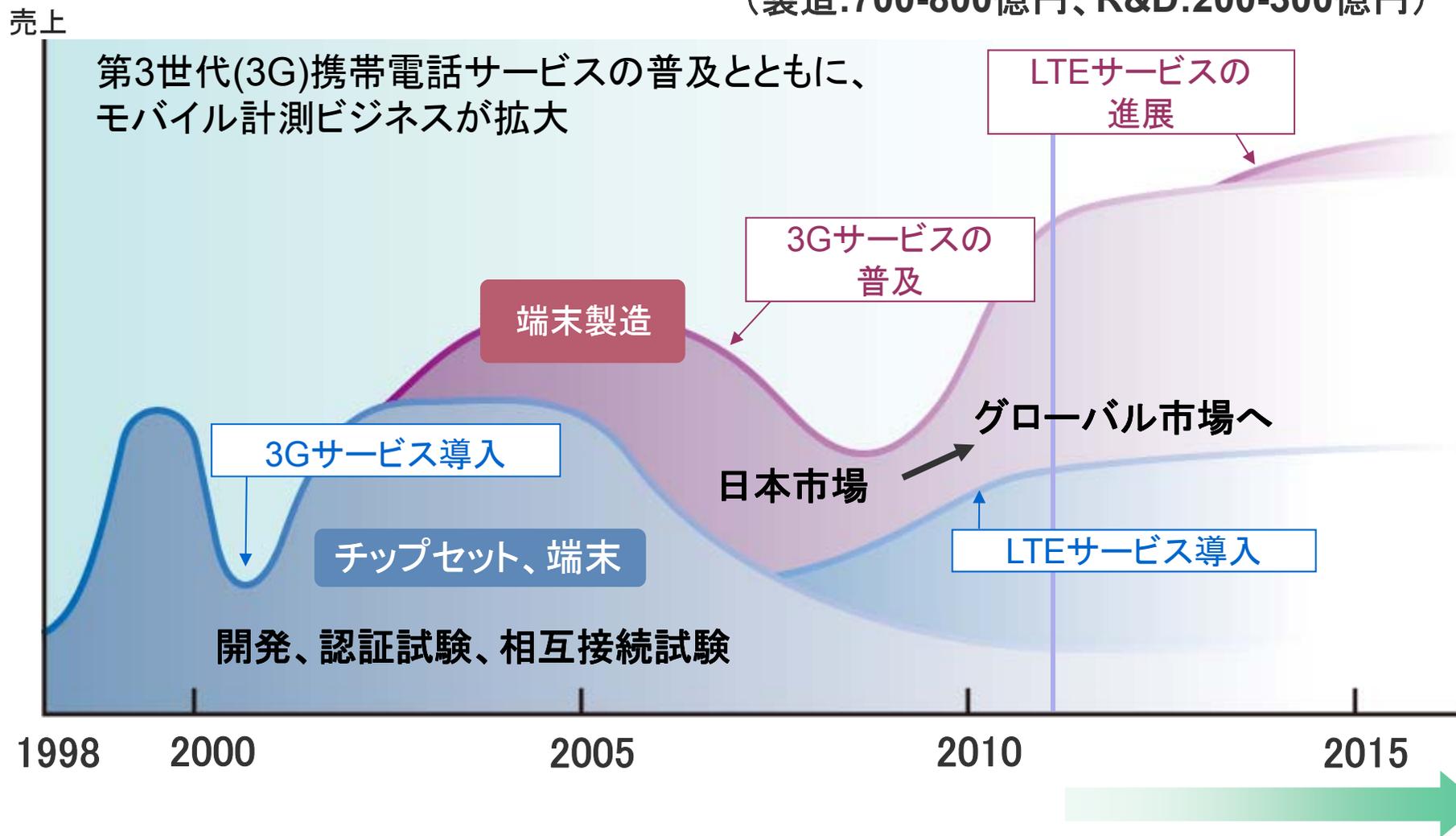
Anritsu

世界のトップランナー モバイル計測事業

3-1. モバイル計測ビジネスのトレンド

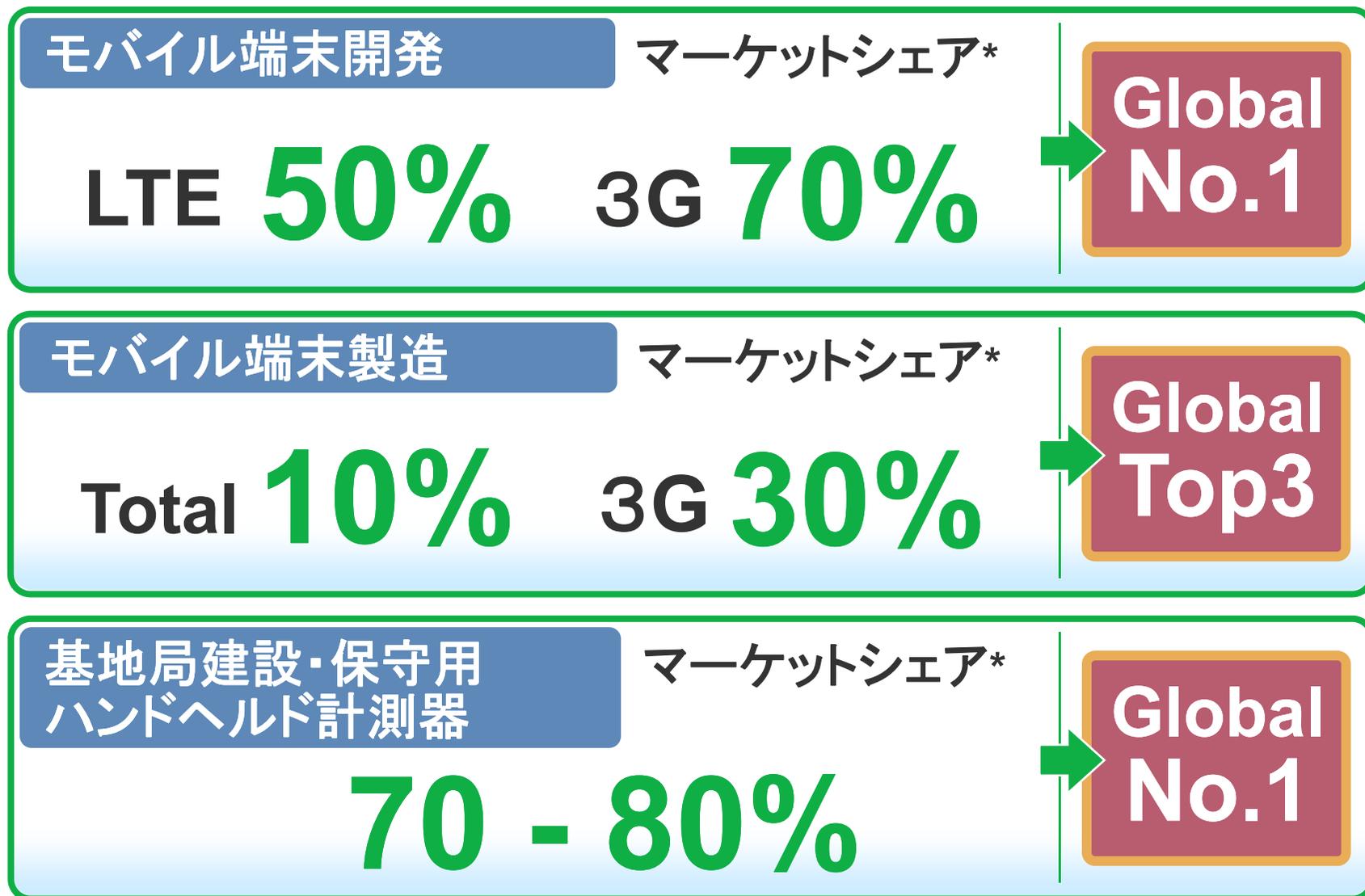
モバイル計測市場(2010年、当社推定):1,000億円

(製造:700-800億円、R&D:200-300億円)



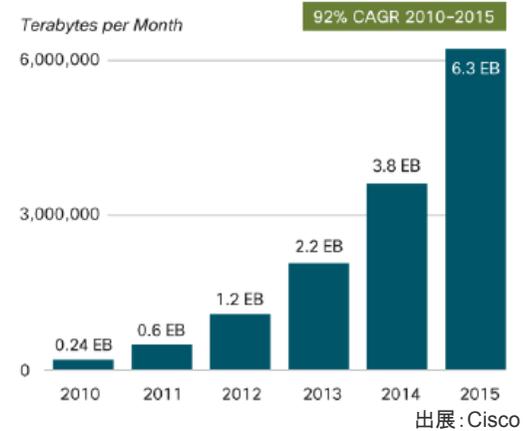
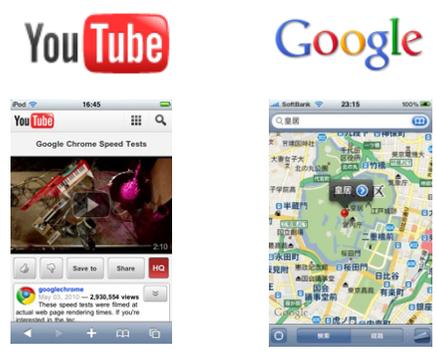
3-2. モバイル計測事業における強み

*当社推定

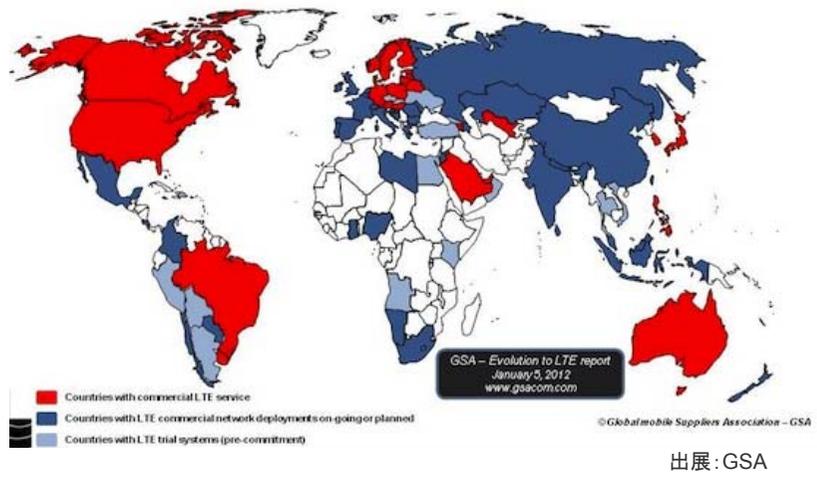


3-3. モバイル市場の動向と5つのキーワード

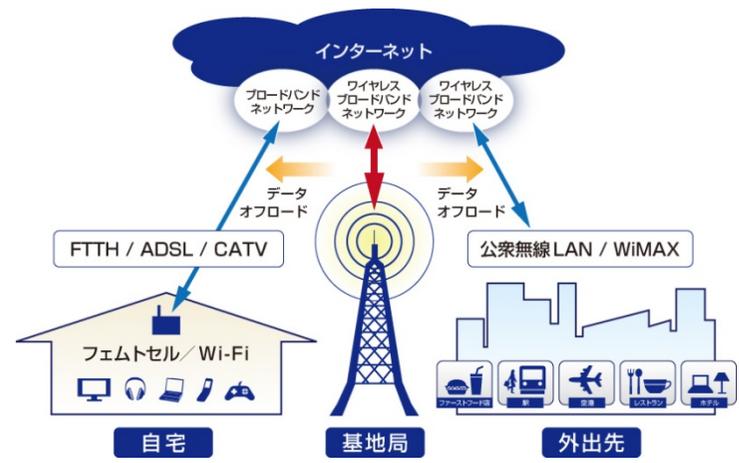
スマートフォンの普及 + アプリの高度化 = トラフィックの急増



LTEサービスの拡大



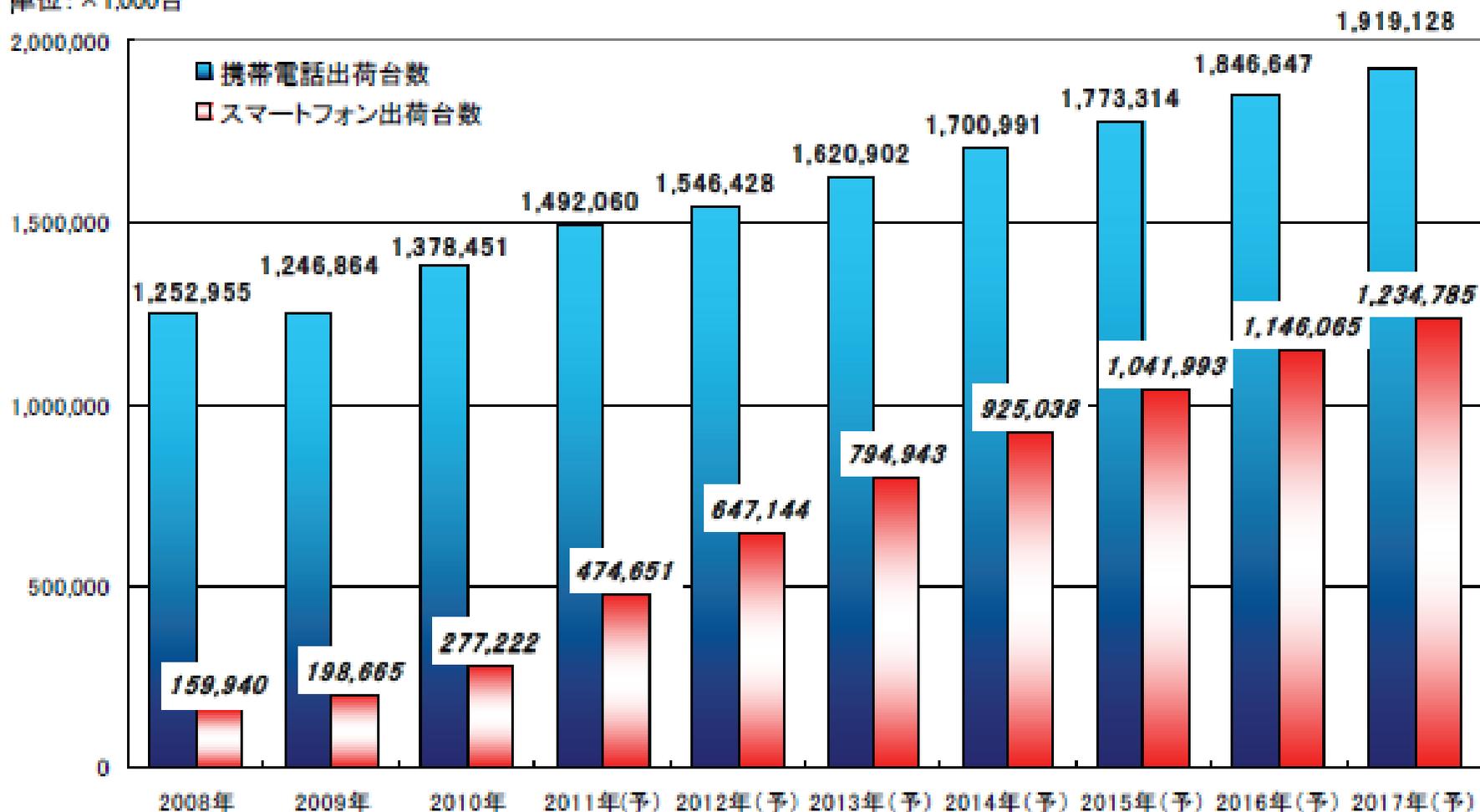
WiFiデータオフロード



3-4. 成長ドライバー(1) スマートフォン製造市場

携帯電話出荷台数に占めるスマートフォン比率の急拡大

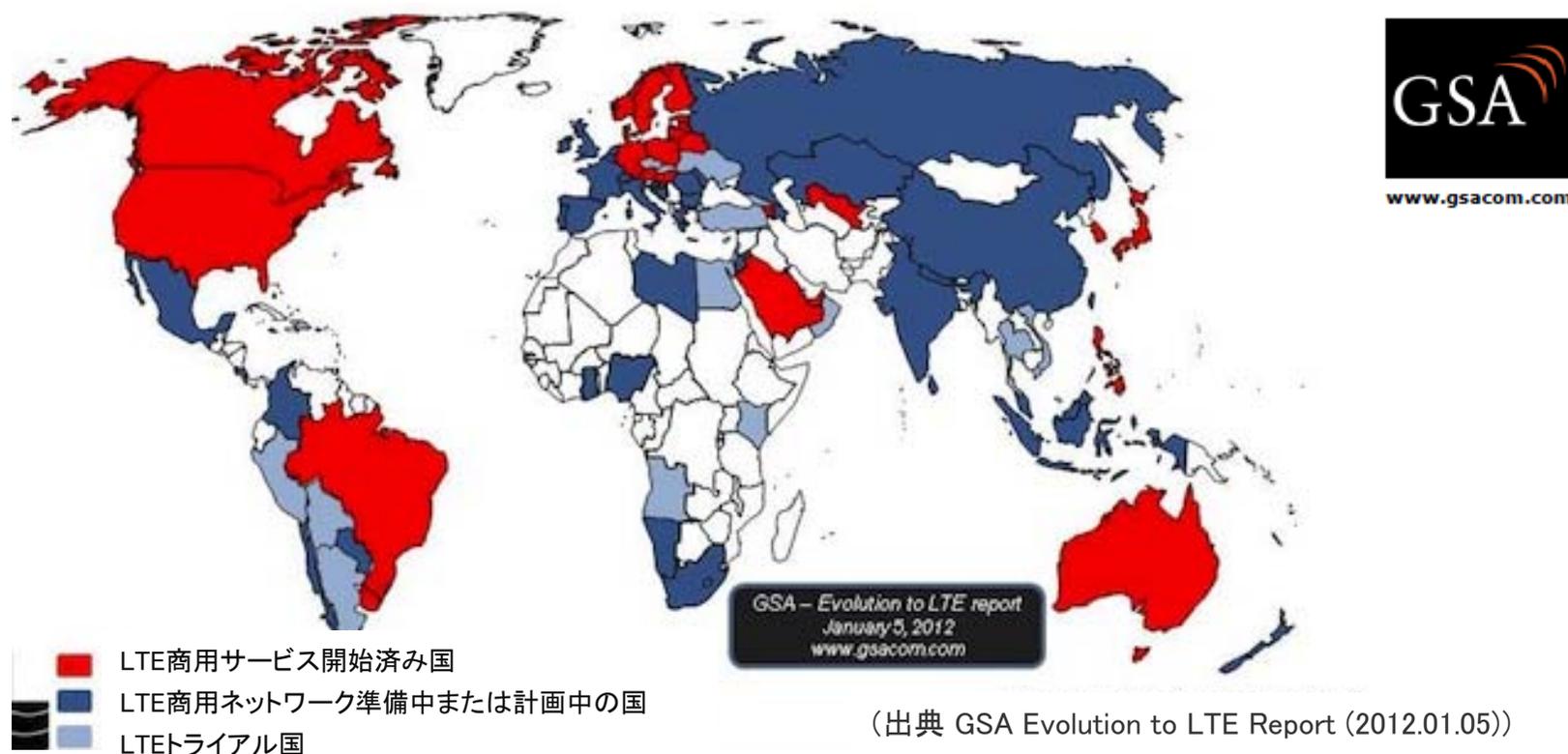
単位: ×1,000台



出典: 矢野経済研究所

3-5. 成長ドライバー(2) 次世代高速通信”LTE”市場

次世代通信規格“LTE”では、第3世代(3G)方式の10倍以上の高速通信が可能になり、サービスの導入が急速に進んでいます。



29か国、49の事業者がLTEサービス中
76か国、226の事業者がLTE商用サービス導入を表明
2012年末までに、119のネットワーク(50か国)でサービス開始の見込み

3-6. スマートフォンとアプリ・サービスの普及・進展



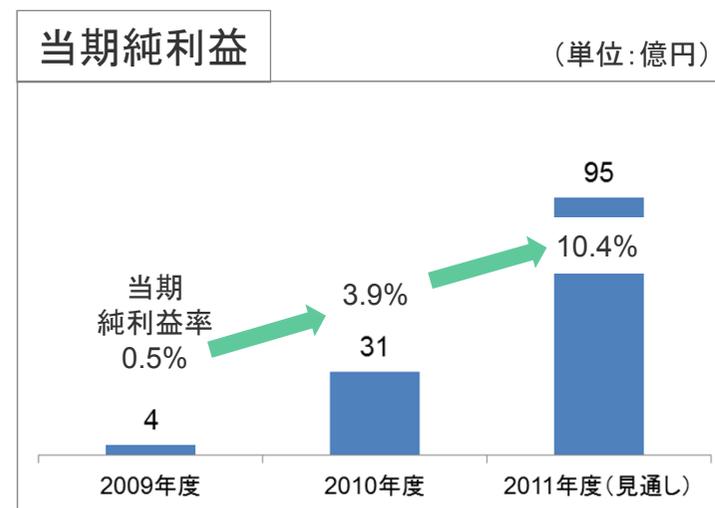
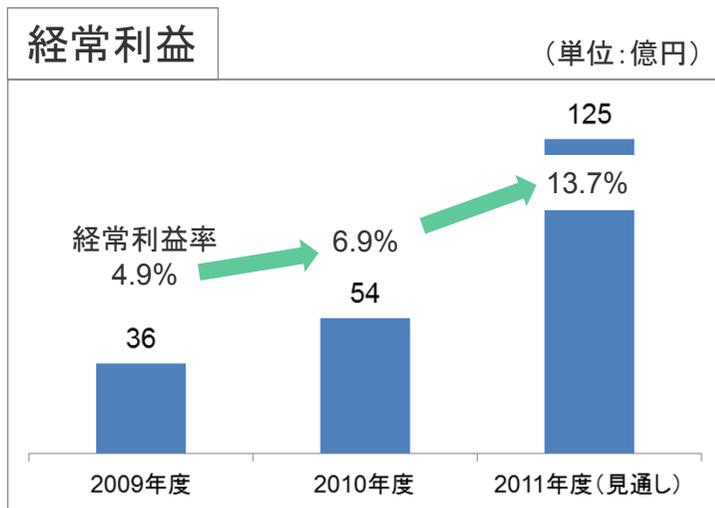
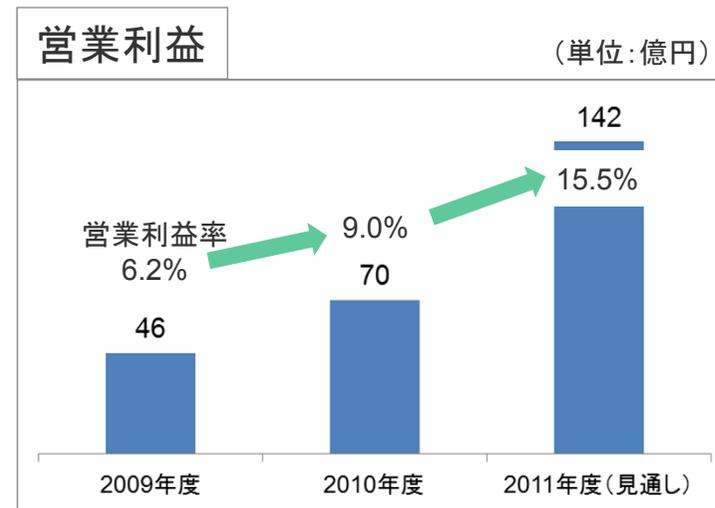
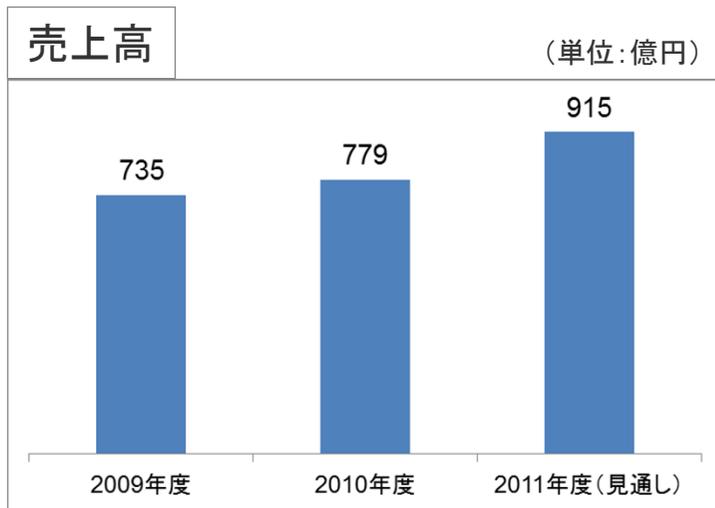
-
1. 会社概要
 2. 事業概要
 3. 成長ドライバー: モバイル計測事業
 - 4. 業績の推移**
 5. 株主・投資家のみなさまへ

Anritsu

業績は着実に
増収増益

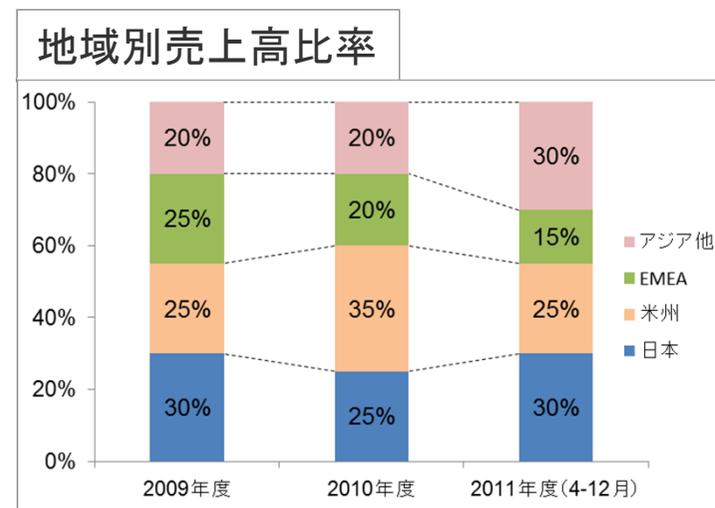
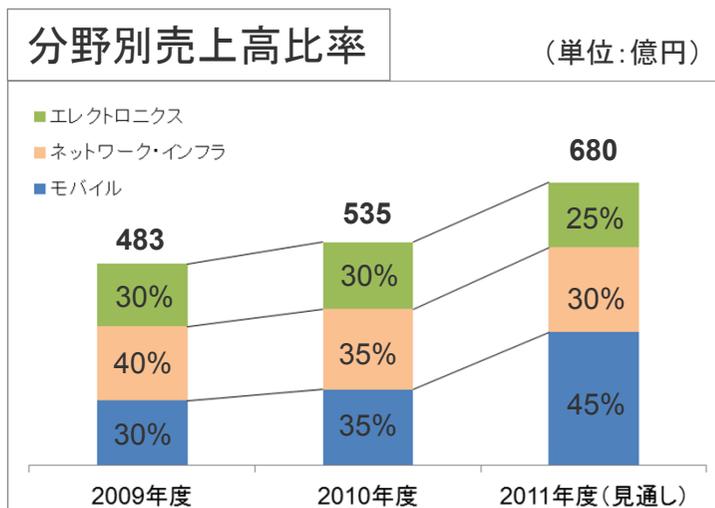
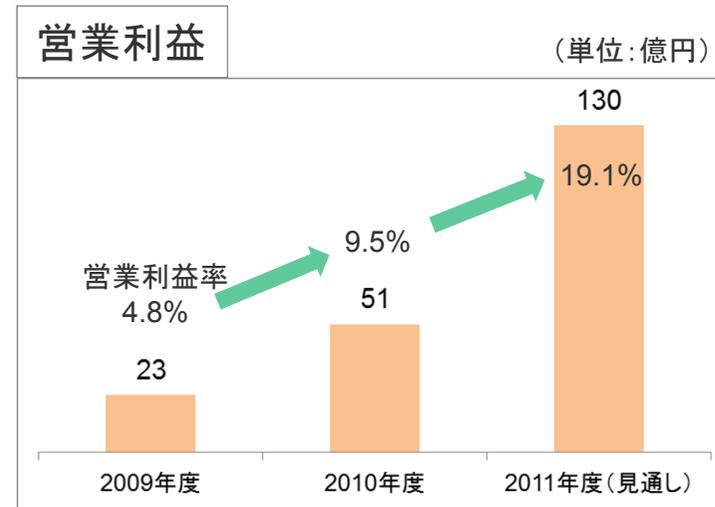
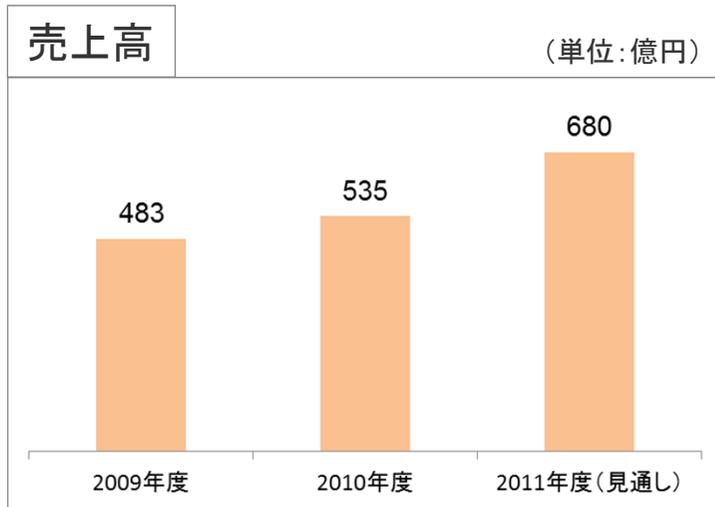
4-1. 連結業績推移

計測事業が業績を牽引し、大幅増収増益の見通し



4-2. 計測事業 業績推移

スマートフォンや次世代携帯通信規格“LTE”関連の計測需要が業績を牽引



-
1. 会社概要
 2. 事業概要
 3. 成長ドライバー: モバイル計測事業
 4. 業績の推移
 - 5. 株主・投資家のみなさまへ**



透明性の高い経営で
企業価値向上

5-1. 配当について

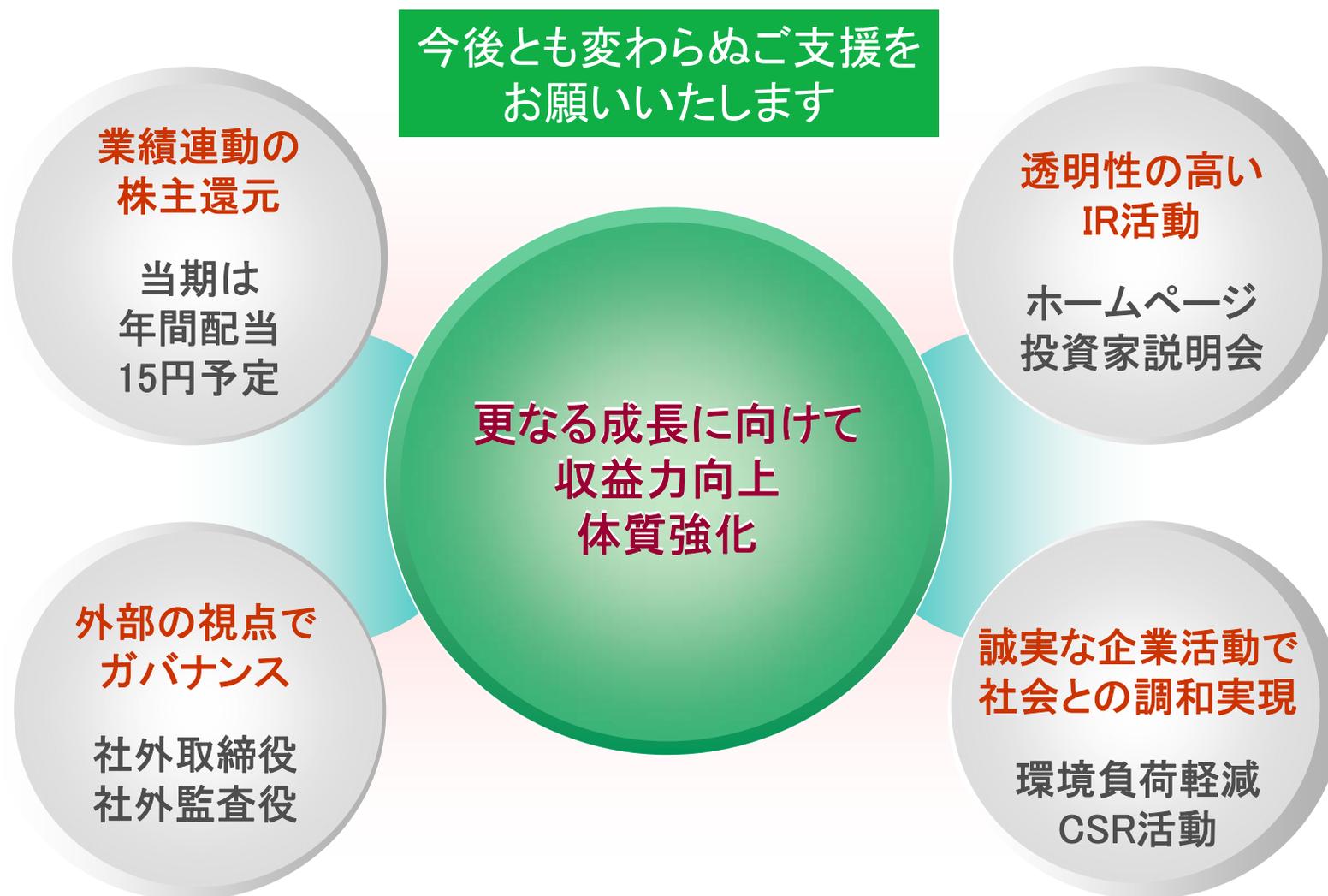
年間配当：増配

10円 → 15円（中間配当5円、期末配当10円）

配当方針

株主の皆さまへの利益還元策として、連結当期純利益の水準に応じて、連結純資産配当率(DOE)を上昇させることを基本に、事業環境などの諸般の事情を総合的に考慮して決定しています。

5-2. 株主・投資家のみなさまへ



つながるイノベーションで安全・安心で豊かな グローバル社会の発展に貢献します





Anritsu

Discover What's Possible™